

2024年5月5日

「イエスの名によって」

ヨハネによる福音書 16:25-33

早川 真牧師

今朝の箇所ではイエスは、あなたがたには世で苦難がある。と言われます。この時イエスは十字架への道のりを歩いておられました。人間の目から見れば勝っているどころか負けているとしか思えない状況です。しかしイエスはそれらの更に先にある復活を見ておられました。それ故に「わたしは既に世に勝っている」と宣言されたのでした。イエスはこの時、言わば勝利を先取りして宣言されました。それは父なる神がイエスと共におられ、神は必ず死からご自分を復活させてくださるということを確認しておられたからでした。そしてその同じ確信を私たちにも持つようにとイエスは励ましておられます。

私たちは祈る時、必ずその終わりに「イエス・キリストの御名によって」と祈りますが、それはイエスご自身が「あなたがたはわたしの名によって願いなさい」と言われたからです。ここから私たちが天の父に願うことができるのは、イエス・キリストの名によるということが分かります。イエスは弟子たちが天の父に必要なすべてを願うことができるようご自分の名を使うことを許されました。

イエスの名に希望を置く時、私たちには平和と勝利が約束されています。その平和とは神がいつも共にいてくださることであり、勝利とはイエスの名によってあらゆる悪の力と死に打ち勝つということです。そのことに希望を置く時、私たちがまたイエスのように「わたしは既に世に勝っている」と宣言することができるのでしょう。たとえ今は苦難の中で倒れている私たちであっても、主の聖霊が降る時、再び起き上がりイエスの名によって力強く歩む者へと変えられる、神がきっと変えてくださる、その約束を希望を持って待ち続けてまいりたいと思います。